



学校教育目標 **自主 友愛 鍛錬** 教師も生徒も伸びる学校

＜校長講話より ～「感謝の気持ち」と「素敵な笑顔」があふれる北中にしましょう～

6月の校長講話を行いました。前回からの続きで、「思考・感謝・笑顔（S・K・E）」の「感謝」と「笑顔」について話をしました。前は、1回目の講話ということもあり、これからの予定も含み、時間をかけてしまいましたが、今回は10分程度で話を終えました。生徒の様子を知るために、教頭に各学級を回してもらいましたが、どの学級の生徒も集中して話を聞いてくれたとの報告を受け、とても安心しました。人間の集中力が高いレベルで持続するのは15分程度と言われているので、これからも「短時間の・分かりやすく・記憶に残る」講話を意識していきたいと思えます。

講話では「私たちは、いつも誰かに少なからず支えてもらいながら生きているので、決して一人ぼっちではない。だから、そのことに感謝の気持ちをもっていきたい。」「笑顔をつくることは多くの効果があり、特に人間関係を上手に保つ上では重要である。笑顔はまわりに伝染していくので、進んで笑顔をつくっていききたい。」という内容を自分の経験を交えながら伝えました。そして、講話の終わりには、「笑顔（笑うこと）は健康によいと言われてはいますが、その理由を考えてみてください。」と生徒に問いかけました。ご家庭におきましても、お子さんとの会話の話題にさせていただけるとありがたいです。

生活のキーワード「思考・感謝・笑顔（S・K・E）」は、学校生活の中だけでなく、長い人生の中でも欠かせないものであると私は思っています。

＜中体連・東信大会の結果＞ ～選手みなさんの頑張りに感謝しています～

6月25日（日）の大会で、すべての種目の東信大会が終了しました。各運動部の顧問から、どの選手も全力を発揮して競技に臨んだと報告を受け、嬉しく思っています。県大会への出場権を獲得した選手の皆さんには、東信地区の代表であるという誇りもち、応援してくれている仲間の思いも胸に、再び全力で競技をしてきてほしいです。惜しくも県大会へ進むことができなかった3年生はこれで部活動を引退することになりますが、今までの努力は今後の生活に必ず生きてきますので、気持ちを切り替え、新たな目標を持ち、生活して行ってほしいと思えます。

ご家庭におきましても、今までのお子さんの頑張りにお声がけをいただきますようお願い申し上げます。ご協力をありがとうございました。

私たちはいつも誰かに支えられて生きている

私たちは決して一人ではない



笑顔は

- ・その場の雰囲気をもっと明るく和やかにする
- ・会話が弾むことで人間関係をよくする

＜東信大会の結果＞

- 陸上 : 12種目34名出場、11種目16名が県大会へ
- サッカー : 予選リーグ2位、決勝トーナメント2回戦進出（ベスト8）
- 男子バスケ : 予選リーグ3位
- 男子テニス : [団体]東信5位で県大会へ [個人]2ペアが県大会へ
- 女子テニス : [団体]東信ベスト4で県大会へ [個人]2ペアが県大会へ
- 女子バレー : 予選リーグ3位
- 野球 : 準決勝へ進出。東信3位で県大会へ
- 柔道 : [団体]東信5位で県大会へ [個人]男子90kg級 優勝で県大会へ
- 水泳 : 4種目2名出場、2種目2名が県大会へ